

市長メッセージ

創意工夫を凝らし、まちに磨きをかけて次の世代へ

過去から多くの芦屋市民が望んできたJR芦屋駅南地区の再開発事業が決定してから4年。芦屋駅改良工事も進んでいます。

過去には戦争や大震災、現在では新型コロナウイルス感染症や人口減少など、いつの時代にも課題や苦難はありますが、先人たちは苦難をのり越えて、現在の芦屋のまちを築いてこられました。私もリーダーシップを執りなが

ら市民の皆さまとともに、創意工夫を凝らし、まちに磨きをかけて、次の世代につなげていきたいと考えています。本市の中心核であるJR芦屋駅前を美しく快適に整えることで、周辺地域の魅力も高めてまいります。また国際文化住宅都市として発展してきた歴史を継承することで、市民の皆さまにだけでなく、阪神間や関西の発展につなげてまいります。



芦屋市長
いづまい

JR芦屋駅周辺のこれまで

JR芦屋駅周辺のまちづくりって今どうなっているの？

モンテメール リニューアル開業	令和2年 2020年	12月 再開発特別会計予算が市議会で再び否決される 11月 総事業費を34.5億円減らした縮減案を説明 5月 事業計画変更 3月 再開発特別会計予算が市議会で初めて否決される 2月 総事業費201億円（市の負担額119.7億円）
	平成30年 2018年	6月「再開発事業の施行に関する条例」と「JR芦屋駅改良工事に関する協定の締結」を市議会が全会一致で可決 5月 再開発事業の事業計画決定
	平成29年 2017年	再開発事業に関する都市計画決定
	平成28年 2016年	まちづくり基本計画の策定
	平成26年 2014年	地元住民によるまちづくり協議会が設立
	平成23年 2011年	駅南地区まちづくり計画の検討再開
	平成13年 2001年	財政状況の悪化により事業着手が延期される
	平成10年 1998年	地元住民によるまちづくり研究会が発足
阪神・淡路大震災発生	平成7年 1995年	9月 市議会において再開発の見直しを求める請願と事業の早期実現を求める請願がどちらも採択される
JR芦屋駅に 新快速電車が 停まるようになる	平成2年 1990年	
モンテメール開業	昭和55年 1980年	
駅北地区の再開発 事業が始まる	昭和54年 1979年	
	昭和50年 1975年	あたらしい“芦屋の顔”づくり構想（駅周辺環境再開発基本計画）の策定
	昭和46年 1971年	芦屋市総合計画で駅周辺が再開発計画区域に位置付け
国鉄芦屋駅に 快速電車が停 まるようになる	昭和32年 1957年	
	昭和21年 1946年	駅前広場・駅前線の都市計画決定
国鉄（現在のJR） 芦屋駅が開業	大正2年 1913年	



昭和40年代のJR芦屋駅南口付近

もっと知りたい！ 駅南のまちづくり



市議会での予算の否決

再開発事業の予算は一般会計と再開発事業特別会計という2つの会計で成り立っています。このうち、再開発事業特別会計の令和2年度予算が、事業費の負担による将来の市財政悪化を主な理由として否決されました。その後、事業の見直しが検討され、総事業費を34.5億円減らした縮減案が出されましたが、議会からは事業手法の見直しが必要という理由で予算は否決され、現在、事業を進めることが難しい状況となっています。

事業計画

実施される事業における建物や道路の位置や規模、期間、資金等について具体的に定めた計画。事業計画決定がされると事業が本格的に動き出し、第二種事業では地権者の人が再開発ビルに入居するかどうかの手続き等が始まります。

JR芦屋駅改良工事等の施行に関する協定

JR芦屋駅舎のリニューアル工事のうち、単なる店舗増床を除いた市が補助や負担をする工事についての取決め。市はこの協定工事で約36.6億円の負担をすることとなっています。

まちづくり基本計画（平成28年）

事業化に向けて市民意見募集を行い、「まちの玄関・交流・案内から発信機能」、「交流（出会い）の拠点（基地）機能」、「安全安心・利便性を追求した交通結節機能」等の5つの機能を導入し、「芦屋」を発信する多世代交流のまちづくりをコンセプトとして事業に取り組むことを決めました。

あたらしい“芦屋の顔”づくり構想（昭和50年）

当時の構想における駅南地区の範囲は約3.2haで現在の計画の約3倍の広さとなっていました。駅南地区には住宅の他に文化ホールや教育施設等が計画されていました。

都市計画

まちづくりのために将来整備する道路の位置等を定める計画。都市計画決定は事業のスタート地点に立つことです。道路等の予定地となった区域内では建築の制限があります。

駅前広場（交通広場）

鉄道、バス、タクシー、乗用車の乗り換えのための広場。

駅前線

JR芦屋駅南西から国道2号「茶屋之町北」交差点へ続く南北の道路。南下すると茶屋さくら通りに入ります。

JR芦屋駅南地区のまちづくりの特集は、芦屋市広報番組「あしやトライあぐる」バックナンバー（2月後半放送）でもご覧いただけます。

